

保健福祉企画総務課長 様

安全・安心ネットワーク推進室長 北山 兼久

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の  
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成23年2月25日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>岡山市福島コミュニティハウス新築工事</p>	
<p>委員からの意見</p>	<p>具体化の結果・状況</p>	
<p>南側の歩道上に点字ブロックがないがどう考えているのか。</p> <p>敷地の入口から玄関ポーチまでの経路の途中で勾配が変わるのは好ましくない。やむえず、勾配を変える場合は、認知しやすいように色を変えるなどの対応をして欲しい。</p> <p>玄関左側の造りつけの椅子は、固定ではなく、可動式のものが良いのではないかと。また、可動にするなら、どっしりとして安定感のある背もたれ付の椅子を採用してほしい。</p>	<p>南区役所の維持管理課が担当であり、意見があったことを伝えました。</p> <p>なお、コミュニティハウスの入口であることをお知らせする目的で設置する誘導ブロックについては、歩道まで延ばします。</p> <p>経路の途中で勾配を変えない計画とします。</p> <p>背もたれ付の可動式椅子に変更します。</p>	

<p>玄関右側にも椅子と下足入れが必要ではないか。</p>	<p>玄関右側は、常に手摺が必要な方の動線として考えていますので、途中に通行の支障となる、下足入れ、椅子等は設置出来ません。</p>
<p>各室の入口前に、入口であることを示す警告ブロックを取り付けてはどうか。</p>	<p>車椅子の使用を考慮すると廊下は出来るだけ平坦にしたいと考えております。よって、警告ブロックは設置出来ません。</p>
<p>多目的トイレをオストメイト対応にしてはどうか。</p>	<p>福島コミュニティハウスを含め今後整備するコミュニティハウスについては、オストメイト対応のトイレとします。</p>
<p>火災時の非常時ルートに段差があると危ない。玄関以外の逃げ道がほしい、掃き出し窓など2ヶ所以上確保してほしい。また、会議室の南側の掃き出し窓の下が玉石であるが、避難のことを考えると、フラットのほうが良いのではないか。</p>	<p>主たる部屋の窓は全て掃き出し窓としています。また、雨仕舞いの関係上、敷地との段差をなくすことは不可能です。避難時の手助けの必要な方に対しては、人的な対応を積極的に行うよう地元をお願いします。</p>
<p>玄関の磁器タイルは杖などが滑るのではないか。素材の変更をしてほしい。</p>	<p>耐水性、耐久性及び掃除のしやすさ等を総合的に検討した結果タイルがベストと考えております。なお、タイルでもなるべく滑りにくい表面仕上げのものを考えております。</p>
<p>車いす駐車場周辺は平面にしてほしい。</p>	<p>可能な限り対応します。</p>
<p>自転車利用者に対して「点字ブロックの上では降りてください」などの表示看板の設置をしてほしい。</p>	<p>自転車利用者に対して、敷地内は自転車から降りるように指導啓発を行うよう地元へお願いしますので、表示看板は設置しません。</p>
<p>火災報知器、フラッシュの設置をしてほしい。</p>	<p>消防法上、設置が必要な非常警報設備は設置しますが、火災報知設備、フラッシュは設置しません。</p>
<p>水洗ボタンと緊急ボタンは離して設置してほしい。</p>	<p>離して設置します。</p>

<p>泥よけマットはもっと大きいものにしてほしい。</p> <p>多目的トイレの手洗いの手すりがほしい。</p>	<p>車椅子等の利用を考慮した結果、泥よけマットの設置を取りやめます。</p> <p>多目的トイレのスペース上、スムーズな導線の確保ができないため、設置出来ません。</p>
--	--